

# 災害に強いまちづくりについて

## 一般質問



長田 謙一 議員  
(21政会)

**問** 災害に強い町づくりを推進する中、市民活動の推進の現況と課題について質問する。

**答** 自助、共助を原点とし、自主防災組織を中心に活動が行われており、年間約50の訓練助成をしています。新たな防災訓練の形式を考える時期でもあり、多くの参加者が得られるような内容の充実が今後の課題です。

**問** 災害に強い防災体制及び、整備の現況と課題について質問する。

**答** 災害が起きて数時間、初期

段階の対応が被害の拡大防止や復旧に大きく影響すると言われるように、災害発生時に迅速な対応ができるよう、防災体制の整備強化が最も必要です。

現況と課題について、まず1点目は職員の災害対応能力の向上を図る必要があります。2点目は防災ネット、エリアメール等の伝達システムの利用者増加を図る必要があります。3点目は、医療や生活物資の調達体制の整備を図る必要があります。4点目は、広域的な災害活動や緊急輸送の体制整備が必要です。5点目は、復興復旧体制の強化です。今後、各種関係機関と応援協定を締結し調整を図りながら、迅速な対応ができるよう努めたいと思います。

**問** 災害に強い市街地の整備と現況と課題について質問する。

**答** 市街地は老朽化した木造建

築物が多く、地震発生時には倒壊など大きな被害が発生すると考えられ、道路についても全般的に狭く、緊急車両が通行しにくい状況となっています。また、降雨が道路側溝以外に、複雑な生活水路を流れているために、集中豪雨時には住宅浸水被害が発生しています。

市街地の整備は大きな課題と考えており、平成25年度は中国自動車道の流水防止対策として、市道古坂谷線に雨水渠ボックスカルバートの敷設を予定しています。また、狹隘道路の整備については、官民境界等の地積調査など、12区の住民のご理解とご協力が必要不可欠であります。

### ■その他の質問項目

- ・政府の骨太方針において加西市行政の対応
- ・平成24年度教育委員会点検評価報告書について

# 環境保全対策について

## 一般質問



衣笠 利則 議員  
(21政会)

**問** 加西市のクリーンセンターの現状について

①小野・加東施設事務組合とのごみ処理連携を来年4月より開始するに当たりクリーンセンターの現在の状況を尋ね、又今後施設の維持管理費にどの程度の費用が必要とするのか。

②加西市ではしっかりと分別ができていますが、今後廃棄物をいかにリサイクル化することに大きな課題となると思います。

給食センターでの生ごみ、剪定枝、小中学校のPTAの奉仕活動の木々

が年間350トンから400トン以上発生しており、これらの廃棄物を小野のクリーンセンターへ持ち込めば当然、トン当たりの金額を支払わなければなりません。従いましていかに少なくするかを考えられていることをお尋ねをします。

③廃棄物処理計画におけるリサイクル率について、国・県のリサイクル率の目標に対して加西市のリサイクル率はどれ位なのか、又リサイクル率の向上に向けた取り組みはどの様にされるのかおたずねをします。

**答** クリーンセンターの現状について

①年間の処理能力14,300トン/年間で可燃ごみは同じく年間10,000トン処理をしています。補修費は年間6,000万円～7,000万円が必要となり、焼却炉では5年か

ら8年で更新をし、又全体では15年位で新しくしなければなりません。又その時には20億円程度が必要となります。

②廃棄物のリサイクルについては今後当面市外で堆肥化しその堆肥を市民の方に利用してもらいたいと思っております。(要望)是非加西市内で堆肥が出来るようにして下さい。

小型家電製品もリサイクルできるようにします。

③加西市のリサイクル率は17.83%で堆肥化できるもの、そして小型家電製品等のリサイクルにより4%ぐらい上げていきたいと思っております。又市内の所々に置かれている紙類の回収ボックスはリサイクル率の数字に入っておりませんが、今後市民の方々の協力の元リサイクル率の向上に努めたいと思っております。